

令和7年度事業 三種町みらい創造プラン 事業検証シート
(みらい創造プラン等審議会検証事業分)

No.	事業 番号	みらい創造プラン実施計画事業名	担当課	担当課 評価	審議会評価	
					事業 評価	今後の 方針
1	16	釜谷浜海水浴場管理事業	商工観光交流課	B	B	B
2	19	琴丘地域公共土木施設維持管理業務	琴丘支所	B	B	B
3	20	山本地域公共土木施設維持管理業務	山本支所	B	B	B
4	32	SNS等を活用した情報発信	企画政策課	B	B	A
5	34	地域でまもる高性能機械導入支援事業	農林課	B	A	B
6	61	森林資源活用	農林課	A	A	A
7	93	子育て支援センター事業	健康推進課	A	A	A
8	117	成人保健事業	健康推進課	B	B	B
9	124	高齢者サロン活動支援事業	福祉課	B	A	A
10	157	おらほの敬老交流会等補助事業	福祉課	B	B	B
11	170	学校給食費無償化事業	教育委員会	B	B	B
12	178	児童生徒体育文化関係出場費助成事業	教育委員会	B	B	B
13	200	住民共助による地域づくり活動	企画政策課	B	B	A
14	220	可燃ごみ収集運搬業務	町民生活課	B	B	B
15	228	水道施設維持補修業務	上下水道課	B	B	B
16	230	下水道施設維持補修（合併浄化槽含む）事業	上下水道課	B	B	B
17	236	町道維持管理事業	建設課	B	B	B
18	238	橋梁長寿命化事業	建設課	B	B	B
19	245	消費者行政推進事業	商工観光交流課	B	B	A

20	250	機構改革の検討	総務課	A	B	A
21	259	諸証明発行窓口の拡充・コンビニ交付事業	町民生活課	B	B	B
22	278	町税等に係る収納率の向上、電子機器による収納サービス	税務課	B	B	B

R7年度 新しい地方経済・生活環境創生交付金(デジタル実装型)検証事業
(みらい創造プラン等審議会検証事業分)

No.	検証番号	デジタル実装型事業名	担当課 評価	審議会評価	
				事業 評価	今後の 方針
1	R7(R6補)-2024TYPE1-1	議会会議録検索システム事業	A	B	B

【評価区分】

担当課評価		
総合評価	A	拡大
	B	維持
	C	改善
	D	廃止又は中止

審議会評価		
事業効果・評価	A	非常に効果的であった
	B	相当程度の効果があった
	C	効果がほとんどなかった
	D	効果がなかった
今後の方針	A	さらに発展させるべき(拡大)
	B	効果があるので継続
	C	内容の見直しが必要(改善)
	D	効果が見えないので廃止

三種町みらい創造プラン 事業検証シート

R6

R7



1. 基本事項	事業番号	16	担当課名	商工観光交流課
名 称	釜谷浜海水浴場管理事業			
計画種別	☒ みらい創造プラン ☐ 国土強靱化計画 ☐ 行革推進計画 ☒ 過疎地域持続的発展計画 ☐ 男女共同参画推進計画 ☒ 企業版ふるさと納税 ☐ DX推進計画			
基本政策	若者の定住促進と賑わいのあるまち	重点戦略	若者が定住し賑わう戦略	
主要施策	観光資源の充実と交流人口の拡大	重点施策	観光資源の充実と交流人口の拡大	
施策項目	観光資源の整備充実	主な内容	観光資源の整備充実	

2. 概 要

目 的	釜谷浜海水浴場の開設期間中の安全と環境整備及び維持管理
内 容	環境省認定「日本の快水浴場100選」の釜谷浜海水浴場の開設期間中の安全と環境整備及び維持管理のため、海水浴場監視員6人、トイレ・炊事場清掃員1人へ委託管理している。

3. 成果と課題

成果	観光資源の維持、環境保全、交流人口の拡大等
課題等	毎年、監視員を見つけることに苦慮している。現在、監視員をやっていただいている方も高齢化しており、若い後継者が必要であるが、中々見つけられないのが現状である。

4-1 事業の目標達成状況

指標	R6		R7	
	目標	実績	目標	実績
海水浴人数(単年)	50,000人	56,811人	50,000人	59,121人

4-2 重要業績評価指標(KPI)※みらい創造プランでKPIが設定されている事業

指 標	現状値(R1)	R6		R7	
		目標	実績	目標	実績
5年後の交流人口数(単年)	1,070,000人	1,170,000人	966,443人	1,175,000人	979,822人
5年後の町内宿泊施設宿泊者数(単年)	12,000人	15,000人	20,312人	20,000人	17,250人

5. コスト

	R5	R6	R7
経 費	5,172,075円	5,960,692円	7,075,998
うち特定財源	2,108,300円	6,803円	7,045

6. 効果（担当課の評価）

評価項目		評価区分		評価	
一次評価（担当課）	必要性	住民のニーズの変化や官民の役割分担という視点から評価	a: ニーズは増加している b: ニーズに大きな変化はない c: ニーズはやや減少傾向にある d: ニーズは大幅に減少している	R6	a
				R7	a
	適手切段の	事業目的の達成のため、適切な手段での事業実施という視点から評価	a: 手段は適正である b: 検討事項はあるが手段は概ね適切 c: 手段の一部見直しが必要 d: 手段の抜本的見直し必要	R6	a
				R7	a
	効率性	人的・物的資源の有効活用という視点から評価	a: コストや効率性は改善している b: コストや効率性に大きな変化なし c: コストや効率性に一部改善必要 d: コストや効率性に抜本的改善必要	R6	b
				R7	b
	目標達成度	現時点における事業目的の達成度を、事業の指標や進捗という視点から評価	a: 事業は良好に進捗している b: 事業は概ね良好に進捗している c: 事業の進捗に一部問題がある d: 事業の進捗に大きな課題がある	R6	a
				R7	a
	総合評価	住民生活への影響を十分考慮した上で、今後の事業展開を評価 A: 拡大 B: 維持 C: 改善 D: 廃止または中止	年度	評価	評価の理由
			R6	B	毎年、町内外からたくさんの方々から利用されており、観光資源の柱となっているとともに、交流人口にも大いにつながっているため、継続維持すべきである。
			R7	B	毎年、町内外からたくさんの方々から利用されており、観光資源の柱となっているとともに、交流人口にも大いにつながっているため、継続維持すべきである。

***** ** 以下担当者入力不要 ** *

7. 評価（審査会の評価）

事業効果・評価		R6	R7	今後の方針		R6	R7
A非常に効果的であった		☐	☐	Aさらに発展(拡大)		☐	☐
B相当程度効果があった		☐	☒	B効果があるので継続		☐	☒
C効果がほとんどなかった		☐	☐	C内容の見直しが必要(改善)		☐	☐
D効果がなかった		☐	☐	D効果が見込めないため廃止		☐	☐
全体評価・コメント	R6						
	R7	・釜谷浜海水浴場は、町内外からたくさんの方々から利用されており、交流人口にもつながっている。 ・監視員が高齢化しており、若い後継者を見つけることに苦慮しているため、ライフセーバーの導入や勤務体制の2交代制などを検討していただきたい。 ・今後の釜谷浜海水浴場の利用につなげるため、県外利用者の調査やクローズしている海の家の活用も検討していただきたい。					

8. 議会への報告

9. 全員協議会での意見



三種町みらい創造プラン 事業検証シート

R6

R7



1. 基本事項	事業番号	19	担当課名	琴丘支所
名 称	琴丘地域公共土木施設維持管理業務			
計画種別	☒ みらい創造プラン ☐ 国土強靱化計画 ☐ 行革推進計画 ☐ 過疎地域持続的発展計画 ☐ 男女共同参画推進計画 ☐ 企業版ふるさと納税 ☐ DX推進計画			
基本政策	若者の定住促進と賑わいのあるまち	重点戦略		
主要施策	観光資源の充実と交流人口の拡大	重点施策		
施策項目	観光資源の整備充実	主な内容		

2. 概 要

目 的	琴丘地域の公園・道路等公共施設の維持管理及び環境整備を図る
内 容	5月中旬から10月末の期間に、琴丘地域の道路・公園・河川付近等公共施設の草刈作業及び廃棄物の収集等の環境整備、支障木があった場合は伐木作業を行う。 草刈作業(草刈機械持込・各自自家用車での移動:13,074円/日) 伐木作業(チェーンソー持込・各自自家用車での移動:18,508円/日)

3. 成果と課題

成果	道路の見通し改善や施設内の障害物除去により、利用者の通行及び施設の安全性が向上した。また、定期的な管理を実施したことで景観の美化や不法投棄の誘発を防止できた。
課題等	今年度は6名の公募に対し4名の応募であったため、期間延長により業務に対応している。作業員の高齢化により、人員の確保に困難をきたしている。

4-1 事業の目標達成状況

指標	R6		R7	
	目標	実績	目標	実績
作業員	6	6	6	4
作業箇所	40	49	40	40

4-2 重要業績評価指標(KPI)※みらい創造プランでKPIが設定されている事業

指 標	現状値(R1)	R6		R7	
		目標	実績	目標	実績

5. コスト

	R5	R6	R7
経 費	4,492,028	4,275,282	4,698,798
うち特定財源	0	0	0

6. 効果（担当課の評価）

評価項目		評価区分		評価	
一次評価（担当課）	必要性	住民のニーズの変化や官民の役割分担という視点から評価	a: ニーズは増加している b: ニーズに大きな変化はない c: ニーズはやや減少傾向にある d: ニーズは大幅に減少している		R6 a
	適手切段の	事業目的の達成のため、適切な手段での事業実施という視点から評価	a: 手段は適正である b: 検討事項はあるが手段は概ね適切 c: 手段の一部見直しが必要 d: 手段の抜本的見直し必要		R6 b
	効率性	人的・物的資源の有効活用という視点から評価	a: コストや効率性は改善している b: コストや効率性に大きな変化なし c: コストや効率性に一部改善必要 d: コストや効率性に抜本的改善必要		R6 b
	目標達成	現時点における事業目的の達成度を、事業の指標や進捗という視点から評価	a: 事業は良好に進捗している b: 事業は概ね良好に進捗している c: 事業の進捗に一部問題がある d: 事業の進捗に大きな課題がある		R6 a
	総合評価	住民生活への影響を十分考慮した上で、今後の事業展開を評価 A: 拡大 B: 維持 C: 改善 D: 廃止または中止	年度	評価	評価の理由
			R6	B	作業員の人員確保が課題ではあるが、シルバー人材センターを利用しながら対応している。住民からのニーズが非常に高く、住民生活安全確保のため、今後も町施設や道路維持等は継続して行っていく必要がある。
			R7	B	作業員の人員確保が課題ではあるが、期間延長により対応している。住民からのニーズが非常に高く、住民生活安全確保のため、今後も町施設や道路維持等は継続して行っていく必要がある。

***** ** 以下担当者入力不要 ** *****

7. 評価（審査会の評価）

事業効果・評価		R6	R7	今後の方針	R6	R7
A非常に効果的であった		☐	☐	Aさらに発展(拡大)	☐	☐
B相当程度効果があった		☐	☒	B効果があるので継続	☐	☒
C効果がほとんどなかった		☐	☐	C内容の見直しが必要(改善)	☐	☐
D効果がなかった		☐	☐	D効果が見込めないため廃止	☐	☐
全体評価・コメント	R6					
	R7	・隙間時間をうまく活用したアプリ(ご近所ワークなど)の活用も考えられる。公共施設の維持のためだけでなく、他事業での活用を視野に入れた導入もできるのではないかと。 ・作業人員が集まらないということは、広報や公募の仕方に検討が必要ではないかと。				

8. 議会への報告



9. 全員協議会での意見

三種町みらい創造プラン 事業検証シート

R6

R7



1. 基本事項	事業番号	20	担当課名	山本支所
名 称	山本地域公共土木施設維持管理業務			
計画種別	☒ みらい創造プラン ☐ 国土強靱化計画 ☐ 行革推進計画 ☐ 過疎地域持続的発展計画 ☐ 男女共同参画推進計画 ☐ 企業版ふるさと納税 ☐ DX推進計画			
基本政策	若者の定住促進と賑わいのあるまち	重点戦略		
主要施策	観光資源の充実と交流人口の拡大	重点施策		
施策項目	観光資源の整備充実	主な内容		

2. 概 要

目 的	山本管内の主要施設周辺等の景観を良くするため環境整備を図る
内 容	5月中旬から10月末の期間に、山本管内の主要施設周辺の草刈り及び町道、林道等の草刈りを実施。草刈り(草刈り機械持込及び各自自家用車での移動で13,074円)、伐倒(チェーンソー持込及び各自自家用車での移動で1日18,508円)

3. 成果と課題

成果	5月中旬から10月下旬までの期間、計画通り6名で実施。これにより、施設周辺の景観美化をはじめ、交通安全、防犯にも寄与している。
課題等	作業員の高齢化により、人員確保が年々困難となっている。また、夏季においては高齢者の熱中症対策の徹底が求められていることから、作業時間の低下を引き起こしており、計画の見直しが必要となっている。住民から追加の要望箇所が増えてきており、対応が困難となっている。

4-1 事業の目標達成状況

指標	R6		R7	
	目標	実績	目標	実績
作業員数	6	6	6	6
作業箇所	35	35	35	40

4-2 重要業績評価指標(KPI)※みらい創造プランでKPIが設定されている事業

指 標	現状値(R1)	R6		R7	
		目標	実績	目標	実績

5. コスト

	R5	R6	R7
経 費	4,762,128	4,673,361	4,229,439
うち特定財源	0	0	0

6. 効果（担当課の評価）

評価項目		評価区分		評価	
一次評価（担当課）	必要性	住民のニーズの変化や官民の役割分担という視点から評価	a: ニーズは増加している b: ニーズに大きな変化はない c: ニーズはやや減少傾向にある d: ニーズは大幅に減少している	R6	a
				R7	a
	適切性の	事業目的の達成のため、適切な手段での事業実施という視点から評価	a: 手段は適正である b: 検討事項はあるが手段は概ね適切 c: 手段の一部見直しが必要 d: 手段の抜本的見直し必要	R6	a
				R7	b
	効率性	人的・物的資源の有効活用という視点から評価	a: コストや効率性は改善している b: コストや効率性に大きな変化なし c: コストや効率性に一部改善必要 d: コストや効率性に抜本的改善必要	R6	b
				R7	c
	目標達成度	現時点における事業目的の達成度を、事業の指標や進捗という視点から評価	a: 事業は良好に進捗している b: 事業は概ね良好に進捗している c: 事業の進捗に一部問題がある d: 事業の進捗に大きな課題がある	R6	a
				R7	b
	総合評価	住民生活への影響を十分考慮した上で、今後の事業展開を評価 A: 拡大 B: 維持 C: 改善 D: 廃止または中止	年度	評価	評価の理由
			R6	B	毎年この事業を行っているが、町民には大変喜ばれている。
			R7	B	住民ニーズの増大に対し、供給は厳しい状況となっている。

*****: ** 以下担当者入力不要 ** :*****

7. 評価（審査会の評価）

事業効果・評価		R6	R7	今後の方針	R6	R7
A非常に効果的であった		☐	☐	Aさらに発展(拡大)	☐	☐
B相当程度効果があった		☐	☒	B効果があるので継続	☐	☒
C効果がほとんどなかった		☐	☐	C内容の見直しが必要(改善)	☐	☐
D効果がなかった		☐	☐	D効果が見込めないため廃止	☐	☐
全体評価・コメント	R6					
	R7	・ 隙間時間をうまく活用したアプリ(ご近所ワークなど)の活用も考えられる。公共施設の維持のためだけでなく、他事業での活用を視野に入れた導入もできるのではないか。 ・ 作業人員が集まらないということは、広報や公募の仕方に検討が必要ではないか。				

8. 議会への報告



9. 全員協議会での意見

三種町みらい創造プラン 事業検証シート

R6

R7



1. 基本事項	事業番号	32	担当課名	企画政策課
名 称	SNS等を活用した情報発信			
計画種別	☒ みらい創造プラン ☐ 国土強靱化計画 ☒ 行革推進計画 ☐ 過疎地域持続的発展計画 ☐ 男女共同参画推進計画 ☐ 企業版ふるさと納税 ☐ DX推進計画			
基本政策	若者の定住促進と賑わいのあるまち	重点戦略	若者が定住し賑わう戦略	
主要施策	関係人口拡大と賑わいの創出	重点施策	関係人口拡大と賑わいの創出	
施策項目	様々な媒体による情報発信	主な内容	様々な媒体による情報発信	

2. 概 要

目 的	町公式SNS等を活用した情報発信により、三種町の情報を町内外へ伝える。
内 容	町公式SNS等を活用し情報発信する。 町公式Facebook 町公式X 町公式YouTube デジタルサイネージ(ゆめろん) ゆめろんサイネージ登録事業者:12社

3. 成果と課題

成果	令和7年8月より公式Instagramを新たに開始し、新しい層の獲得に寄与した。
課題等	投稿コンテンツの継続が課題となっているので、引き続き県アドバイザー派遣事業等を活用して継続性のある運用が求められます。

4-1 事業の目標達成状況

指標	R6		R7	
	目標	実績	目標	実績
町公式SNSの投稿数	100本	143本	150本	160本
町公式YouTubeの投稿数	38本	54本	42本	40本

4-2 重要業績評価指標(KPI)※みらい創造プランでKPIが設定されている事業

指 標	現状値(R5)	R6		R7	
		目標	実績	目標	実績
町公式SNSのフォロワー数	Facebook 2,787人	Facebook 4,000人	Facebook 2,437人	Facebook 5,000人	Facebook 2,501人
町公式YouTubeのフォロワー数	YouTube 647人	YouTube 1,000人	YouTube 957人	YouTube 1,300人	YouTube 1,125人

5. コスト

	R5	R6	R7
経 費	—	—	20,000
うち特定財源	—	—	0

6. 効果（担当課の評価）

評価項目		評価区分		評価	
一次評価（担当課）	必要性	住民のニーズの変化や官民の役割分担という視点から評価	a: ニーズは増加している b: ニーズに大きな変化はない c: ニーズはやや減少傾向にある d: ニーズは大幅に減少している	R6	a
				R7	a
	適切段性	事業目的の達成のため、適切な手段での事業実施という視点から評価	a: 手段は適正である b: 検討事項はあるが手段は概ね適切 c: 手段の一部見直しが必要 d: 手段の抜本的見直し必要	R6	a
				R7	b
	効率性	人的・物的資源の有効活用という視点から評価	a: コストや効率性は改善している b: コストや効率性に大きな変化なし c: コストや効率性に一部改善必要 d: コストや効率性に抜本的改善必要	R6	b
				R7	b
	目標達成	現時点における事業目的の達成度を、事業の指標や進捗という視点から評価	a: 事業は良好に進捗している b: 事業は概ね良好に進捗している c: 事業の進捗に一部問題がある d: 事業の進捗に大きな課題がある	R6	b
				R7	b
	総合評価	住民生活への影響を十分考慮した上で、今後の事業展開を評価 A: 拡大 B: 維持 C: 改善 D: 廃止または中止	年度	評価	評価の理由
			R6	A	SNSによる情報発信により町内外に町の魅力が発信されている。新たな発信手段を模索しつつ、さらに情報発信を強化していきたい。
			R7	B	発信コンテンツの充実により目に付く機会の増加が今後必要となってくるので、継続性のある運用のためにコンテンツ確保の方法を模索していきたい。

*****: ** 以下担当者入力不要 ** *****

7. 評価（審査会の評価）

事業効果・評価		R6	R7	今後の方針	R6	R7
A非常に効果的であった		☐	☐	Aさらに発展（拡大）	☐	☒
B相当程度効果があつた		☐	☒	B効果があるので継続	☐	☐
C効果がほとんどなかった		☐	☐	C内容の見直しが必要（改善）	☐	☐
D効果がなかった		☐	☐	D効果が見込めないため廃止	☐	☐
全体評価・コメント	R6					
	R7	・KPIについて、フォロワー数より再生数を評価した方が良いのではないかな。 ・フォロワーの年代等を検証すると、どのような年代向けの動画（ターゲットを絞った動画）を作るか等を考える材料になる。 ・SNSによる情報発信は、手間はかかるが一番お金がかからないPRになる。例えば職員全員がリポストするとそこから更に広がると思う。 ・子育て世代向け情報等の発信にも活用できるのではないかな。 ・FacebookやInstagramなどのSNSは観光・企業紹介のイメージが強い。年代によってはSNSに触れない世代もいることや住民は暮らしに関する情報（災害情報等）が欲しいと思うので、公式LINEの導入を検討してほしい。				

8. 議会への報告



9. 全員協議会での意見

三種町みらい創造プラン 事業検証シート

R6

R7



1. 基本事項	事業番号	34	担当課名	農林課
名 称	地域でまもる高性能機械導入支援事業			
計画種別	☒ みらい創造プラン ☐ 国土強靱化計画 ☐ 行革推進計画 ☒ 過疎地域持続的発展計画 ☐ 男女共同参画推進計画 ☐ 企業版ふるさと納税 ☐ DX推進計画			
基本政策	地元で安心して働ける雇用を創るまち	重点戦略	稼げる産業をつくる戦略	
主要施策	農林水産業の基盤安定と所得向上	重点施策	農林水産業の基盤安定と所得向上	
施策項目	次世代型農林水産業の普及促進	主な内容	次世代型農林水産業の普及促進	

2. 概 要

目 的	共同で取組を行って農地の保全を行っている多面的機能及び中山間地域等の団体に対し、農地の維持管理に資する農業機械の補助を行うことにより、農地のみならず団地内の農道等の維持管理にも努めてもらう。
内 容	補助団体 : 多面的機能支払交付金又は中山間地域等直接支払交付金の交付団体 補助対象機械: トラクターアタッチモア、ロードメーカー、ラジコン草刈り機等 補助額 : 取得費の税抜価格1/2の補助(上限100万)

3. 成果と課題

成果	令和7年度においては6団体が事業を活用してスライドモアやラジコン草刈機を導入しており、農地等の維持管理が図られている。
課題等	組織の高齢化が進み、導入後の事業継続が難しいと考え、事業実施に二の足を踏んでいる団体もある。

4-1 事業の目標達成状況

指標	R6		R7	
	目標	実績	目標	実績
事業活用団体数(単年度毎)	15	20	15	6

4-2 重要業績評価指標(KPI)※みらい創造プランでKPIが設定されている事業

指 標	現状値(R1)	R6		R7	
		目標	実績	目標	実績

5. コスト

	R5	R6	R7
経 費	—	9,028,000	3,859,000
うち特定財源	—	0	0

6. 効果（担当課の評価）

評価項目		評価区分		評価	
一次評価（担当課）	必要性	住民のニーズの変化や官民の役割分担という視点から評価	a: ニーズは増加している b: ニーズに大きな変化はない c: ニーズはやや減少傾向にある d: ニーズは大幅に減少している	R6	a
				R7	c
	適切性の	事業目的の達成のため、適切な手段での事業実施という視点から評価	a: 手段は適正である b: 検討事項はあるが手段は概ね適切 c: 手段の一部見直しが必要 d: 手段の抜本的見直し必要	R6	b
				R7	c
	効率性	人的・物的資源の有効活用という視点から評価	a: コストや効率性は改善している b: コストや効率性に大きな変化なし c: コストや効率性に一部改善必要 d: コストや効率性に抜本的改善必要	R6	b
				R7	b
	目標達成度	現時点における事業目的の達成度を、事業の指標や進捗という視点から評価	a: 事業は良好に進捗している b: 事業は概ね良好に進捗している c: 事業の進捗に一部問題がある d: 事業の進捗に大きな課題がある	R6	b
				R7	b
	総合評価	住民生活への影響を十分考慮した上で、今後の事業展開を評価 A: 拡大 B: 維持 C: 改善 D: 廃止または中止	年度	評価	評価の理由
			R6	B	就農人口が減っていく中で、高性能機械を用いた需要はある。多面組織・中山間組織の維持事態が難しくなってきたが、本事業を通して組織維持に寄与していきたい。
			R7	B	多面組織・中山間組織の維持事態が難しくなっており、高性能機械を用いた需要は高まっているため、本事業を推進し、組織維持に寄与していきたい。

*****: ** 以下担当者入力不要 ** :*****

7. 評価（審査会の評価）

事業効果・評価		R6	R7	今後の方針		R6	R7
A非常に効果的であった		☐	☒	Aさらに発展(拡大)		☐	☐
B相当程度効果があった		☐	☐	B効果があるので継続		☐	☒
C効果がほとんどなかった		☐	☐	C内容の見直しが必要(改善)		☐	☐
D効果がなかった		☐	☐	D効果が見込めないため廃止		☐	☐
全体評価・コメント	R6						
	R7	・期限付の事業ではあるが、利用できる団体数も把握していることから、団体全体に行き渡るように施策実施の工夫を検討していただきたい。					

8. 議会への報告



9. 全員協議会での意見

三種町みらい創造プラン 事業検証シート

R6

R7



1. 基本事項	事業番号	61	担当課名	農林課
名 称	森林資源活用			
計画種別	☒ みらい創造プラン ☐ 国土強靱化計画 ☐ 行革推進計画 ☐ 過疎地域持続的発展計画 ☐ 男女共同参画推進計画 ☐ 企業版ふるさと納税 ☐ DX推進計画			
基本政策	地元で安心して働ける雇用を創るまち	重点戦略	稼げる産業をつくる戦略	
主要施策	農林水産業の基盤安定と所得向上	重点施策	農林水産業の基盤安定と所得向上	
施策項目	森林経営体制の確立	主な内容	森林経営体制の確立	

2. 概 要

目 的	森林の有する多面的機能の高度発揮と地域林業の育成整備を図るため、森林資源の質的向上及び安定的木材生産が可能となることを目的としている。
内 容	三種町森林整備計画でうたわれる各機能の望ましい森林資源の姿を目指し、適切な森林施業の実施、森林経営の実施、森林の保護に関する取り組みを推進する。 山林の適切な維持管理を促進するため、秋田県の再造林定着促進事業費補助金の交付決定を受けた三種町内の山林に対する嵩上げ補助金の交付を実施。

3. 成果と課題

成果	秋田県の再造林定着促進事業費補助金の交付決定を受けた町内の山林に対する嵩上げ補助金交付の実施により、山林の適切な維持管理を促進し、目標以上の実績をあげることができた。
課題等	林業の成長産業化のため、秋田県の森林整備事業の補助金交付を受けている者に対し助成を行っているが、林業事業体の参入数が少なく施業面積も少ない。

4-1 事業の目標達成状況

指標	R6		R7	
	目標	実績	目標	実績
再造林等促進事業費補助金を活用した森林整備面積	80ha	96ha	80ha	111ha

4-2 重要業績評価指標(KPI)※みらい創造プランでKPIが設定されている事業

指 標	現状値(R1)	R6		R7	
		目標	実績	目標	実績

5. コスト

	R5	R6	R7
経 費	4,305,000	5,277,000	8,504,000
うち特定財源	4,305,000	5,277,000	8,504,000

6. 効果（担当課の評価）

評価項目		評価区分		評価	
一次評価（担当課）	必要性	住民のニーズの変化や官民の役割分担という視点から評価	a: ニーズは増加している b: ニーズに大きな変化はない c: ニーズはやや減少傾向にある d: ニーズは大幅に減少している		R6 a
	適切性	事業目的の達成のため、適切な手段での事業実施という視点から評価	a: 手段は適正である b: 検討事項はあるが手段は概ね適切 c: 手段の一部見直しが必要 d: 手段の抜本的見直し必要		R6 b
	効率性	人的・物的資源の有効活用という視点から評価	a: コストや効率性は改善している b: コストや効率性に大きな変化なし c: コストや効率性に一部改善必要 d: コストや効率性に抜本的改善必要		R6 b
	目標達成	現時点における事業目的の達成度を、事業の指標や進捗という視点から評価	a: 事業は良好に進捗している b: 事業は概ね良好に進捗している c: 事業の進捗に一部問題がある d: 事業の進捗に大きな課題がある		R6 a
	総合評価	住民生活への影響を十分考慮した上で、今後の事業展開を評価 A: 拡大 B: 維持 C: 改善 D: 廃止または中止	年度	評価	評価の理由
			R6	A	森林資源の質的向上及び安定的木材生産を可能とするため、現行の補助率を上げて森林所有者の費用負担を軽減し、事業の拡大を図る必要がある。
			R7	A	補助率を10%から16%に引き上げることができたが、森林所有者の費用負担を軽減するため、補助率の増大をさらに図る必要がある。

*****: ** 以下担当者入力不要 ** :*****

7. 評価（審査会の評価）

事業効果・評価		R6	R7	今後の方針	R6	R7
A非常に効果的であった		☐	☒	Aさらに発展(拡大)	☐	☒
B相当程度効果があった		☐	☐	B効果があるので継続	☐	☐
C効果がほとんどなかった		☐	☐	C内容の見直しが必要(改善)	☐	☐
D効果がなかった		☐	☐	D効果が見込めないため廃止	☐	☐
全体評価・コメント	R6					
	R7	・森林資源活用は、秋田県の補助金に嵩上げ補助金を実施した効果があり、植林など山林の適切な維持管理を促進し、目標以上の実績をあげている。 ・林業事業体の参入数が少なく施業面積も少ないため、事業の周知を図る必要がある。 ・森林所有者の費用負担を軽減するため、補助率の増大をさらに検討していただきたい。				

8. 議会への報告



9. 全員協議会での意見

三種町みらい創造プラン 事業検証シート

R6

R7



1. 基本事項	事業番号	93	担当課名	健康推進課
名 称	子育て支援センター事業			
計画種別	☒ 未来創造プラン ☐ 国土強靱化計画 ☐ 行革推進計画 ☐ 過疎地域持続的発展計画 ☐ 男女共同参画推進計画 ☐ 企業版ふるさと納税 ☐ DX推進計画			
基本政策	誰もが健やかでいきいきと暮らせるまち	重点戦略	みたねの子ども育成戦略	
主要施策	安心して子育てできる環境づくり	重点施策	安心して子育てできる環境づくり	
施策項目	安心して産むことができる環境づくり	主な内容	安心して産むことができる環境づくり	

2. 概 要

目 的	未就園児保護者のコミュニティづくりと相談窓口の運営
内 容	子育て支援センターの開放、おひさまひろばの開催

3. 成果と課題

成果	R7年度の子育て支援センターの利用者数は1,594組4,091名。町外からの利用者も多く見られ、子育て支援センターやおひさまひろばを利用することで、広域的な交流ができています。
課題等	人員体制継続的な確保

4-1 事業の目標達成状況

指標	R6		R7	
	目標	実績	目標	実績
新生児利用勧奨	100%	100%	100%	100%

4-2 重要業績評価指標(KPI)※みらい創造プランでKPIが設定されている事業

指 標	現状値(R1)	R6		R7	
		目標	実績	目標	実績

5. コスト

	R5	R6	R7
経 費	396,816	517,402	710,272
うち特定財源	0	266,000	379,000

6. 効果（担当課の評価）

評価項目		評価区分		評価	
一次評価（担当課）	必要性	住民のニーズの変化や官民の役割分担という視点から評価	a: ニーズは増加している b: ニーズに大きな変化はない c: ニーズはやや減少傾向にある d: ニーズは大幅に減少している	R6	a
				R7	a
	適切性の	事業目的の達成のため、適切な手段での事業実施という視点から評価	a: 手段は適正である b: 検討事項はあるが手段は概ね適切 c: 手段の一部見直しが必要 d: 手段の抜本的見直し必要	R6	a
				R7	a
	効率性	人的・物的資源の有効活用という視点から評価	a: コストや効率性は改善している b: コストや効率性に大きな変化なし c: コストや効率性に一部改善必要 d: コストや効率性に抜本的改善必要	R6	a
				R7	a
	目標達成度	現時点における事業目的の達成度を、事業の指標や進捗という視点から評価	a: 事業は良好に進捗している b: 事業は概ね良好に進捗している c: 事業の進捗に一部問題がある d: 事業の進捗に大きな課題がある	R6	a
				R7	a
	総合評価	住民生活への影響を十分考慮した上で、今後の事業展開を評価 A: 拡大 B: 維持 C: 改善 D: 廃止または中止	年度	評価	評価の理由
			R6	A	こども家庭センターと子育て支援センターの一体化は県内参考事例としても取り上げられるなど、高い評価を得ている。
			R7	A	こども家庭センターと子育て支援センターの一体化は県内参考事例としても取り上げられるなど、高い評価を得ている。

*****: ** 以下担当者入力不要 ** :*****

7. 評価（審査会の評価）

事業効果・評価		R6	R7	今後の方針		R6	R7
A非常に効果的であった		☐	☒	Aさらに発展(拡大)		☐	☒
B相当程度効果があった		☐	☐	B効果があるので継続		☐	☐
C効果がほとんどなかった		☐	☐	C内容の見直しが必要(改善)		☐	☐
D効果がなかった		☐	☐	D効果が見込めないため廃止		☐	☐
全体評価・コメント	R6						
	R7	人員の確保については、民間との連携するにも同様に人材不足で厳しい状況だと思われるが、本事業は他市町村の先行事例として高い評価を得ている。気軽に遊びに来れる場所として魅力があり、相談をキャッチするスムーズな流れなどが特に評価できる。今後もロールモデルとして一層の事業展開を期待する。					

8. 議会への報告



9. 全員協議会での意見

三種町みらい創造プラン 事業検証シート

R6

R7



1. 基本事項	事業番号	117	担当課名	健康推進課
名 称	成人保健事業			
計画種別	☒ みらい創造プラン ☐ 国土強靱化計画 ☐ 行革推進計画 ☐ 過疎地域持続的発展計画 ☐ 男女共同参画推進計画 ☐ 企業版ふるさと納税 ☐ DX推進計画			
基本政策	誰もが健やかでいきいきと暮らせるまち	重点戦略		
主要施策	健康寿命の延伸	重点施策		
施策項目	疾病予防・介護予防の推進	主な内容		

2. 概 要

目 的	【各種健康教室】健診結果等をもとに高血圧、骨粗鬆症、脂質異常症等をテーマに開催している。【各種健康相談】健診結果説明会、定例健康相談、個別栄養相談会、特定保健指導等を開催している。【訪問指導】糖尿病重症化予防事業、後期高齢者健康づくり訪問等を随時開催している。
内 容	近年の新型コロナウイルス感染症の流行により事業の実施を縮小した年もあったが、R7年度は各種健康教室を例年並みに実施できた。各種健康相談も予定通り実施し、健康に対する不安の相談や健康についての知識の普及を図ることができた。

3. 成果と課題

成果	各種健康教室:726人 健康相談:1549人 訪問指導:42人
課題等	各種健康教室や保健指導対象者の固定化がみられる。

4-1 事業の目標達成状況

指標	R6		R7	
	目標	実績	目標	実績
各種健康教室、健康相談、訪問指導等参加者数(単年)	2,250	2,295	2,300	2,317

4-2 重要業績評価指標(KPI)※みらい創造プランでKPIが設定されている事業

指 標	現状値(R1)	R6		R7	
		目標	実績	目標	実績

5. コスト

	R5	R6	R7
経 費	855,843	1,326,819	1,143,210
うち特定財源	328,000	307,000	361,000

6. 効果（担当課の評価）

		評価項目		評価区分		評価	
一次評価（担当課）	必要性	住民のニーズの変化や官民の役割分担という視点から評価		a: ニーズは増加している b: ニーズに大きな変化はない c: ニーズはやや減少傾向にある d: ニーズは大幅に減少している		R6	b
						R7	b
	適切性の	事業目的の達成のため、適切な手段での事業実施という視点から評価		a: 手段は適正である b: 検討事項はあるが手段は概ね適切 c: 手段の一部見直しが必要 d: 手段の抜本的見直し必要		R6	b
						R7	b
	効率性	人的・物的資源の有効活用という視点から評価		a: コストや効率性は改善している b: コストや効率性に大きな変化なし c: コストや効率性に一部改善必要 d: コストや効率性に抜本的改善必要		R6	b
						R7	b
	目標達成度	現時点における事業目的の達成度を、事業の指標や進捗という視点から評価		a: 事業は良好に進捗している b: 事業は概ね良好に進捗している c: 事業の進捗に一部問題がある d: 事業の進捗に大きな課題がある		R6	b
						R7	b
	総合評価	住民生活への影響を十分考慮した上で、今後の事業展開を評価 A: 拡大 B: 維持 C: 改善 D: 廃止または中止	年度	評価	評価の理由		
			R6	B	令和6年度にみたね健康21計画を策定。健康づくりに関する調査を踏まえ重点目標等を設定。社会状況に応じて開催内容や方法を創意工夫をしていく必要がある。		
			R7	B	社会状況に応じて開催内容や方法を創意工夫をしていく必要がある。		

***** ** 以下担当者入力不要 ** *****

7. 評価（審査会の評価）

事業効果・評価		R6	R7	今後の方針	R6	R7
A非常に効果的であった		☐	☐	Aさらに発展(拡大)	☐	☐
B相当程度効果があった		☐	☒	B効果があるので継続	☐	☒
C効果がほとんどなかった		☐	☐	C内容の見直しが必要(改善)	☐	☐
D効果がなかった		☐	☐	D効果が見込めないため廃止	☐	☐
全体評価・コメント	R6					
	R7	健康教室への参加者は徐々に増え、健康への意識は浸透してきているが、男性の参加が低いことが課題。健康は努力しないと手に入らないため、今後も健康づくりへの意識が向くように継続しながら、参加率の低い男性にターゲットを絞り積極的に周知を図ってほしい。				

8. 議会への報告



9. 全員協議会での意見

三種町みらい創造プラン 事業検証シート

R6

R7



1. 基本事項	事業番号	124	担当課名	福祉課
名 称	高齢者サロン活動支援事業			
計画種別	☒ みらい創造プラン ☐ 国土強靱化計画 ☐ 行革推進計画 ☐ 過疎地域持続的発展計画 ☐ 男女共同参画推進計画 ☐ 企業版ふるさと納税 ☐ DX推進計画			
基本政策	誰もが健やかでいきいきと暮らせるまち	重点戦略		
主要施策	健康寿命の延伸	重点施策		
施策項目	疾病予防・介護予防の推進	主な内容		

2. 概 要

目 的	地域の介護予防や生活支援に取り組むサロン活動への支援
内 容	・短期集中サロン化事業 ・サロン継続運営支援 ・サロン部会講座

3. 成果と課題

成果	・今年度新たに1地区で短期集中サロン化事業を開催し、週1回の自主運営が定着している。 ・既存のサロンには健康運動指導士による支援により、住民による主体的なサロン活動が継続できている。
課題等	・介護予防につながる内容をサロンのメニューとして定着できるよう、内容の紹介など継続した支援をする。 ・生活支援体制整備事業との連携により、参加者同士の地域での見守りや支え合いといった生活支援の視点を持てるよう支援する。

4-1 事業の目標達成状況

指標	R6		R7	
	目標	実績	目標	実績
サロン支援 開催回数・参加人数	40回 400人	61回 602人	40回 400人	57回 673人

4-2 重要業績評価指標(KPI)※みらい創造プランでKPIが設定されている事業

指 標	現状値(R1)	R6		R7	
		目標	実績	目標	実績
-	-	-	-	-	-

5. コスト

	R5	R6	R7
経 費	2,033,000	2,476,000	2,483,000
うち特定財源	1,564,000	1,884,000	1,887,000

6. 効果（担当課の評価）

		評価項目		評価区分		評価	
一次評価（担当課）	必要性	住民のニーズの変化や官民の役割分担という視点から評価			a: ニーズは増加している b: ニーズに大きな変化はない c: ニーズはやや減少傾向にある d: ニーズは大幅に減少している	R6	a
						R7	a
	適切性の	事業目的の達成のため、適切な手段での事業実施という視点から評価			a: 手段は適正である b: 検討事項はあるが手段は概ね適切 c: 手段の一部見直しが必要 d: 手段の抜本的見直し必要	R6	b
						R7	b
	効率性	人的・物的資源の有効活用という視点から評価			a: コストや効率性は改善している b: コストや効率性に大きな変化なし c: コストや効率性に一部改善必要 d: コストや効率性に抜本的改善必要	R6	b
						R7	b
	目標達成度	現時点における事業目的の達成度を、事業の指標や進捗という視点から評価			a: 事業は良好に進捗している b: 事業は概ね良好に進捗している c: 事業の進捗に一部問題がある d: 事業の進捗に大きな課題がある	R6	b
						R7	b
	総合評価	住民生活への影響を十分考慮した上で、今後の事業展開を評価 A: 拡大 B: 維持 C: 改善 D: 廃止または中止	年度	評価	評価の理由		
			R6	B	高齢者の介護予防の推進と生活支援に必要な事業であり、現状を維持する		
R7			B	高齢者の介護予防の推進と生活支援に必要な事業であり、現状を維持する			

*****: ** 以下担当者入力不要 ** :*****

7. 評価（審査会の評価）

事業効果・評価		R6	R7	今後の方針	R6	R7
A非常に効果的であった		☐	☒	Aさらに発展(拡大)	☐	☒
B相当程度効果があった		☐	☐	B効果があるので継続	☐	☐
C効果がほとんどなかった		☐	☐	C内容の見直しが必要(改善)	☐	☐
D効果がなかった		☐	☐	D効果が見込めないため廃止	☐	☐
全体評価・コメント	R6					
	R7	地域の方々が自ら活動しており、多くの高齢者に機会を提供できていて非常に良い事業である。活動内容も各地域によって異なり、無理のない形で実施されているため継続して続けられる活動となっている。地域で長く暮らしていくために非常に重要な事業であるため、今後も団体数や回数等拡大させていってほしい。				

8. 議会への報告



9. 全員協議会での意見

三種町みらい創造プラン 事業検証シート

R6

R7



1. 基本事項	事業番号	157	担当課名	福祉課
名 称	おらほの敬老交流会等補助事業			
計画種別	☒ みらい創造プラン ☐ 国土強靱化計画 ☐ 行革推進計画 ☐ 過疎地域持続的発展計画 ☐ 男女共同参画推進計画 ☐ 企業版ふるさと納税 ☐ DX推進計画			
基本政策	誰もが健やかでいきいきと暮らせるまち	重点戦略		
主要施策	社会福祉の充実	重点施策		
施策項目	高齢者福祉の推進	主な内容		

2. 概 要

目 的	高齢者の長年にわたる地域への貢献に感謝するとともに、地域交流と支え合いによる福祉の向上を推進する。
内 容	町内在住者(施設入所者は除く)のうち当該年度の4月1日までに満70歳以上の方の長寿を祝う行事(敬老交流会)又は敬老祝品を配付する事業(敬老祝品配付)に対して補助金を交付する。

3. 成果と課題

成果	事業開始から4年が経過し、 令和4年度:22団体 → 令和5年度:29団体 → 令和6年度:34団体 → 令和7年度:38団体 と、実施団体は増加の一途をたどり、更に事業が浸透してきていると思われる。
課題等	制度が浸透してきており、参加者からは好評を得ているが、実施できていない地域もあり、制度の周知や手続きの簡素化を図りながら、より多くの地域に広めていく。

4-1 事業の目標達成状況

指標	R6		R7	
	目標	実績	目標	実績
敬老交流会参加者数(人)	680	860	900	975
敬老祝品配付者数(人)	1,580	1,884	1,900	2,155

4-2 重要業績評価指標(KPI)※みらい創造プランでKPIが設定されている事業

指 標	現状値(R1)	R6		R7	
		目標	実績	目標	実績
—	—	—	—	—	—

5. コスト

	R5	R6	R7
経 費	2,849,416	3,713,247	4,177,159
うち特定財源	2,849,416	3,705,000	4,170,000

6. 効果（担当課の評価）

評価項目		評価区分		評価	
一次評価（担当課）	必要性	住民のニーズの変化や官民の役割分担という視点から評価	a: ニーズは増加している b: ニーズに大きな変化はない c: ニーズはやや減少傾向にある d: ニーズは大幅に減少している	R6	a
				R7	a
	適切性の	事業目的の達成のため、適切な手段での事業実施という視点から評価	a: 手段は適正である b: 検討事項はあるが手段は概ね適切 c: 手段の一部見直しが必要 d: 手段の抜本的見直し必要	R6	b
				R7	b
	効率性	人的・物的資源の有効活用という視点から評価	a: コストや効率性は改善している b: コストや効率性に大きな変化なし c: コストや効率性に一部改善必要 d: コストや効率性に抜本的改善必要	R6	b
				R7	b
	目標達成度	現時点における事業目的の達成度を、事業の指標や進捗という視点から評価	a: 事業は良好に進捗している b: 事業は概ね良好に進捗している c: 事業の進捗に一部問題がある d: 事業の進捗に大きな課題がある	R6	b
				R7	a
	総合評価	住民生活への影響を十分考慮した上で、今後の事業展開を評価 A: 拡大 B: 維持 C: 改善 D: 廃止または中止	年度	評価	評価の理由
			R6	B	R4年度の参加者へアンケートをしたところ、多くの方から好評を得ていたため、継続すべきと考える。
			R7	B	地域のふれあい活動推進の面からも継続すべきと考える。なお、実施団体等から敬老祝品の上限額が低すぎるとの声があることから、令和8年度から引き上げる予定。敬老祝品上限額 500円→1,000円

*****: ** 以下担当者入力不要 ** :*****

7. 評価（審査会の評価）

事業効果・評価		R6	R7	今後の方針	R6	R7
A非常に効果的であった		☐	☐	Aさらに発展(拡大)	☐	☐
B相当程度効果があった		☐	☒	B効果があるので継続	☐	☒
C効果がほとんどなかった		☐	☐	C内容の見直しが必要(改善)	☐	☐
D効果がなかった		☐	☐	D効果が見込めないため廃止	☐	☐
全体評価・コメント	R6					
	R7	役員の担い手不足、地域活動の違いから未実施になっている自治会もあるようだが、実施している自治会及び参加した方々はとても楽しそうにしている。地域で対象者が把握できない等の課題もあると思うが、実施できていない自治会ををどう取り込んでいくかが大事であり、活用自治会を増やす工夫を検討してほしい。				

8. 議会への報告



9. 全員協議会での意見

三種町みらい創造プラン 事業検証シート

R6

R7



1. 基本事項	事業番号	170	担当課名	教育委員会
名 称	学校給食費無償化事業			
計画種別	☒ みらい創造プラン ☐ 国土強靱化計画 ☐ 行革推進計画 ☒ 過疎地域特続的發展計画 ☐ 男女共同参画推進計画 ☒ 企業版ふるさと納税 ☐ DX推進計画			
基本政策	誰もが生涯にわたり学び心豊かに暮らすまち	重点戦略	みたねの子ども育成戦略	
主要施策	教育環境等の充実	重点施策	安心して子育てできる環境づくり	
施策項目	教育環境、学校教育の充実	主な内容	安心して産むことができる環境づくり	

2. 概 要

目 的	保護者が安心して子どもを育てることができる環境づくりの促進と経済的な負担の軽減を図る。
内 容	町内の小・中学校に在籍する児童生徒の保護者を対象とする。

3. 成果と課題

成果	保護者の経済的な負担を軽減し、安心して子どもを育てる環境づくりの促進が図られた。
課題等	保護者の経済的な負担を軽減し、安心して子どもを育てる環境づくりの促進が図られている。

4-1 事業の目標達成状況

指標	R6		R7	
	目標	実績	目標	実績

4-2 重要業績評価指標(KPI)※みらい創造プランでKPIが設定されている事業

指 標	現状値(R1)	R6		R7	
		目標	実績	目標	実績

5. コスト

	R5	R6	R7
経 費		49,689,364	53,750,057
うち特定財源		8,500,000	21,000,000

6. 効果（担当課の評価）

評価項目		評価区分		評価	
一次評価（担当課）	必要性	住民のニーズの変化や官民の役割分担という視点から評価	a: ニーズは増加している b: ニーズに大きな変化はない c: ニーズはやや減少傾向にある d: ニーズは大幅に減少している		R6 a
	適手切段の	事業目的の達成のため、適切な手段での事業実施という視点から評価	a: 手段は適正である b: 検討事項はあるが手段は概ね適切 c: 手段の一部見直しが必要 d: 手段の抜本的見直し必要		R6 a
	効率性	人的・物的資源の有効活用という視点から評価	a: コストや効率性は改善している b: コストや効率性に大きな変化なし c: コストや効率性に一部改善必要 d: コストや効率性に抜本的改善必要		R6 a
	目標達成	現時点における事業目的の達成度を、事業の指標や進捗という視点から評価	a: 事業は良好に進捗している b: 事業は概ね良好に進捗している c: 事業の進捗に一部問題がある d: 事業の進捗に大きな課題がある		R6 a
	総合評価	住民生活への影響を十分考慮した上で、今後の事業展開を評価 A: 拡大 B: 維持 C: 改善 D: 廃止または中止	年度	評価	評価の理由
			R6	B	学校給食費無償化事業は、良好に進捗している。
			R7	B	学校給食費無償化事業は、良好に進捗している。

***** ** 以下担当者入力不要 ** *****

7. 評価（審査会の評価）

事業効果・評価		R6	R7	今後の方針	R6	R7
A非常に効果的であった		☐	☐	Aさらに発展(拡大)	☐	☐
B相当程度効果があった		☐	☒	B効果があるので継続	☐	☒
C効果がほとんどなかった		☐	☐	C内容の見直しが必要(改善)	☐	☐
D効果がなかった		☐	☐	D効果が見込めないため廃止	☐	☐
全体評価・コメント	R6					
	R7	子育て世代への経時的支援として大変ありがたい事業である。引き続き継続してほしい。				

8. 議会への報告



9. 全員協議会での意見

三種町みらい創造プラン 事業検証シート

R6

R7



1. 基本事項	事業番号	178	担当課名	教育委員会
名 称	児童生徒体育文化関係出場費助成事業			
計画種別	☒ みらい創造プラン ☐ 国土強靱化計画 ☐ 行革推進計画 ☐ 過疎地域持続的発展計画 ☐ 男女共同参画推進計画 ☐ 企業版ふるさと納税 ☐ DX推進計画			
基本政策	誰もが生涯にわたり学び心豊かに暮らすまち	重点戦略		
政策項目	教育環境等の充実	重点施策		
主な内容	-	主な内容		

2. 概 要

目 的	町内小中学校の児童生徒が大会やコンクール等に参加する際の経費を補助し、体育文化活動の推進を図る。
内 容	全県大会以上の大会やコンクール等に出場する際の交通費、宿泊費を補助する。

3. 成果と課題

成果	児童生徒の体育文化活動の推進と参加者の負担軽減につながった。
課題等	特になし。

4-1 事業の目標達成状況

指標	R6		R7	
	目標	実績	目標	実績
体育文化助成申請数	28	28	28	41

4-2 重要業績評価指標(KPI)※みらい創造プランでKPIが設定されている事業

指 標	現状値(R1)	R6		R7	
		目標	実績	目標	実績
5年後の小学校再編数	6校	5校	5校	5校	5校
5年後の中学校再編数	3校	3校	3校	3校	3校

5. コスト

	R5	R6	R7
経 費	3,258,878	1,084,782	3,732,754
うち特定財源	0	0	0

6. 効果（担当課の評価）

評価項目		評価区分		評価	
一次評価（担当課）	必要性	住民のニーズの変化や官民の役割分担という視点から評価	a: ニーズは増加している b: ニーズに大きな変化はない c: ニーズはやや減少傾向にある d: ニーズは大幅に減少している		R6 b
	適手切段性	事業目的の達成のため、適切な手段での事業実施という視点から評価	a: 手段は適正である b: 検討事項はあるが手段は概ね適切 c: 手段の一部見直しが必要 d: 手段の抜本的見直し必要		R6 a
	効率性	人的・物的資源の有効活用という視点から評価	a: コストや効率性は改善している b: コストや効率性に大きな変化なし c: コストや効率性に一部改善必要 d: コストや効率性に抜本的改善必要		R6 b
	目標達成度	現時点における事業目的の達成度を、事業の指標や進捗という視点から評価	a: 事業は良好に進捗している b: 事業は概ね良好に進捗している c: 事業の進捗に一部問題がある d: 事業の進捗に大きな課題がある		R6 a
	総合評価	住民生活への影響を十分考慮した上で、今後の事業展開を評価 A: 拡大 B: 維持 C: 改善 D: 廃止または中止	年度	評価	評価の理由
			R6	B	未来を担う、子ども達の育成のために今後も取り組みを継続したい。
			R7	B	未来を担う、子ども達の育成のために今後も取り組みを継続したい。

*****: ** 以下担当者入力不要 ** :*****

7. 評価（審査会の評価）

事業効果・評価		R6	R7	今後の方針	R6	R7
A非常に効果的であった		☐	☐	Aさらに発展(拡大)	☐	☐
B相当程度効果があった		☐	☒	B効果があるので継続	☐	☒
C効果がほとんどなかった		☐	☐	C内容の見直しが必要(改善)	☐	☐
D効果がなかった		☐	☐	D効果が見込めないため廃止	☐	☐
全体評価・コメント	R6					
	R7	上位大会へ参加されるチームへの経済的一助になっており、引き続き支援を継続してほしい。				

8. 議会への報告



9. 全員協議会での意見

三種町みらい創造プラン 事業検証シート

R6

R7



1. 基本事項	事業番号	200	担当課名	企画政策課
名 称	住民共助による地域づくり活動			
計画種別	☒ みらい創造プラン ☒ 国土強靱化計画 ☐ 行革推進計画 ☒ 過疎地域持続的発展計画 ☐ 男女共同参画推進計画 ☒ 企業版ふるさと納税 ☐ DX推進計画			
基本政策	地域で支え合う安全安心なまち	重点戦略	住民と連携した地域づくり戦略	
主要施策	地域コミュニティの活性化支援	重点施策	生涯活躍の地域コミュニティの支援	
施策項目	自治会活動の活性化支援	主な内容	自治会活動の活性化支援	

2. 概 要

目 的	地域の団体が主体となり、住民自らが地域の問題解決に取り組む活動に対して、支援を行う。(地域課題解決に取り組む団体への助成金)
内 容	基本額 単独団体 10,000円＋世帯数×250円、 複数団体 12,000円＋世帯数×250円 目的別加算 自主防災組織加算 初年度 世帯数×1,000円、以降5年ごと 世帯数×500円 防災資機材の購入 費用の4/5(上限20万円) 除排雪活動加算 毎年 世帯数×1,000円

3. 成果と課題

成果	R7実績 15団体(内基本分15団体、自主防災加算8団体、除排雪加算10団体) すでに実施されている自治会の活動事例を未実施の自治会へ情報提供することで、新たに活動を検討する自治会が増えた。防災資機材等の補助もあり、自主防災組織の検討をする自治会が増えた。
課題等	自主防災組織の設立・活動を目的とした団体の申請数が予定より伸びていないため、積極的に事業申請を行うように助成金の見直し・拡充に取り組む必要がある。

4-1 事業の目標達成状況

指標	R6		R7	
	目標	実績	目標	実績

4-2 重要業績評価指標(KPI)※みらい創造プランでKPIが設定されている事業

指 標	現状値(R1)	R6		R7	
		目標	実績	目標	実績
住民共助による地域づくり活動活用件数(単年)	8(R5)	10	10	12	15
5年後の自主防災組織数(累計)	3	7	6	8	8

5. コスト

	R5	R6	R7
経 費	837,500	3,174,448	3,535,382
うち特定財源	0	0	0

6. 効果（担当課の評価）

評価項目		評価区分		評価	
一次評価（担当課）	必要性	住民のニーズの変化や官民の役割分担という視点から評価	a: ニーズは増加している b: ニーズに大きな変化はない c: ニーズはやや減少傾向にある d: ニーズは大幅に減少している		R6 a
					R7 a
	適切性	事業目的の達成のため、適切な手段での事業実施という視点から評価	a: 手段は適正である b: 検討事項はあるが手段は概ね適切 c: 手段の一部見直しが必要 d: 手段の抜本的見直し必要		R6 b
					R7 b
	効率性	人的・物的資源の有効活用という視点から評価	a: コストや効率性は改善している b: コストや効率性に大きな変化なし c: コストや効率性に一部改善必要 d: コストや効率性に抜本的改善必要		R6 b
					R7 b
	目標達成	現時点における事業目的の達成度を、事業の指標や進捗という視点から評価	a: 事業は良好に進捗している b: 事業は概ね良好に進捗している c: 事業の進捗に一部問題がある d: 事業の進捗に大きな課題がある		R6 b
					R7 b
	総合評価	住民生活への影響を十分考慮した上で、今後の事業展開を評価 A: 拡大 B: 維持 C: 改善 D: 廃止または中止	年度	評価	評価の理由
			R6	B	新たな共助の動きが見えているため引き続き支援が必要
			R7	B	令和7年度大雪被害により共助組織の需要が高まったため、活用団体の増加と事業内容の再構築も含め検討が必要。

*****: ** 以下担当者入力不要 ** :*****

7. 評価（審査会の評価）

事業効果・評価		R6	R7	今後の方針	R6	R7
A非常に効果的であった		☐	☐	Aさらに発展(拡大)	☐	☒
B相当程度効果があった		☐	☒	B効果があるので継続	☐	☐
C効果がほとんどなかった		☐	☐	C内容の見直しが必要(改善)	☐	☐
D効果がなかった		☐	☐	D効果が見込めないため廃止	☐	☐
全体評価・コメント	R6					
	R7	・自主防災組織は非常に良い事業なので、この事業をきっかけに設立を検討していただきたい。 ・活用団体があまり増えないのは、手続きに難儀するイメージがあるのではないかと。一度取り組んでしまえば非常に良い制度ではあるので、活用団体の事例の共有や、担当課のサポートによりスムーズに手続きできることをアピールしたほうが良いと思う。 ・他自治体では水道検針員の方が見守りを兼任していたり、住民が自家用車を使って近所の交通弱者を支援するなどの取り組みもある。補助金を活用した活動のアイデアを団体へ勧めてみるのも良いのではないかと。				

8. 議会への報告



9. 全員協議会での意見

三種町みらい創造プラン 事業検証シート

R6

R7



1. 基本事項	事業番号	220	担当課名	町民生活課
名 称	可燃ごみ収集運搬業務			
計画種別	☒ みらい創造プラン ☐ 国土強靱化計画 ☐ 行革推進計画 ☐ 過疎地域時局的発展計画 ☐ 男女共同参画推進計画 ☐ 企業版ふるさと納税 ☐ DX推進計画			
基本政策	地域で支え合う安全安心なまち	重点戦略		
主要施策	環境にやさしいエコなまちづくり	重点施策		
施策項目	ゴミの減量化・廃棄物の適正処理の推進	主な内容		

2. 概 要

目 的	生活環境保全のために、可燃ごみを適正に収集運搬する。
内 容	各地域において週2回の収集をし、南部清掃工場に運搬している。

3. 成果と課題

成果	週2回の収集運搬により、家庭ごみの排出回数に関しての苦情はない。また、新設された能代山本クリーンセンターの試運転のため、令和8年1月からクリーンセンターへ運搬しているが、遅延や不回収もなく収集運搬されている。
課題等	令和8年度より能代山本クリーンセンターが本稼働するため、現状の収集運搬業務に係る作業時間や距離の延長を想定されることから、各曜日の収集区域を見直し、作業時間の平準化を図ることとした。

4-1 事業の目標達成状況

指標	R6		R7	
	目標	実績	目標	実績
—				

4-2 重要業績評価指標(KPI)※みらい創造プランでKPIが設定されている事業

指 標	現状値(R1)	R6		R7	
		目標	実績	目標	実績
—					

5. コスト

	R5	R6	R7
経 費	19,732,680	19,732,680	29,302,020
うち特定財源	0	0	0

6. 効果（担当課の評価）

評価項目		評価区分		評価	
一次評価（担当課）	必要性	住民のニーズの変化や官民の役割分担という視点から評価	a: ニーズは増加している b: ニーズに大きな変化はない c: ニーズはやや減少傾向にある d: ニーズは大幅に減少している	R6	a
				R7	a
	適切性の	事業目的の達成のため、適切な手段での事業実施という視点から評価	a: 手段は適正である b: 検討事項はあるが手段は概ね適切 c: 手段の一部見直しが必要 d: 手段の抜本的見直し必要	R6	a
				R7	a
	効率性	人的・物的資源の有効活用という視点から評価	a: コストや効率性は改善している b: コストや効率性に大きな変化なし c: コストや効率性に一部改善必要 d: コストや効率性に抜本的改善必要	R6	a
				R7	a
	目標達成度	現時点における事業目的の達成度を、事業の指標や進捗という視点から評価	a: 事業は良好に進捗している b: 事業は概ね良好に進捗している c: 事業の進捗に一部問題がある d: 事業の進捗に大きな課題がある	R6	a
				R7	a
	総合評価	住民生活への影響を十分考慮した上で、今後の事業展開を評価 A: 拡大 B: 維持 C: 改善 D: 廃止または中止	年度	評価	評価の理由
			R6	B	町民の生活環境の保全のために必要不可欠なサービスであるため、今後も継続する
			R7	B	廃棄物の適正な分別、収集運搬により、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、継続して実施する。

*****: ** 以下担当者入力不要 ** :*****

7. 評価（審査会の評価）

事業効果・評価		R6	R7	今後の方針	R6	R7
A非常に効果的であった		☐	☐	Aさらに発展(拡大)	☐	☐
B相当程度効果があった		☐	☒	B効果があるので継続	☐	☒
C効果がほとんどなかった		☐	☐	C内容の見直しが必要(改善)	☐	☐
D効果がなかった		☐	☐	D効果が見込めないため廃止	☐	☐
全体評価・コメント	R6					
	R7	収集運搬業務に係る作業時間や距離の見直しにより課題がクリアされ改善されたことは大変よかった。 新たなクリーンセンターへの移行もスムーズに行われており、本事業は生活に欠かせない公衆衛生の取組であるため、引き続き維持して欲しい。				

8. 議会への報告



9. 全員協議会での意見

三種町みらい創造プラン 事業検証シート

R6

R7



1. 基本事項	事業番号	228	担当課名	上下水道課
名 称	水道施設維持補修業務			
計画種別	☒ みらい創造プラン ☒ 国土強靱化計画 ☐ 行革推進計画 ☐ 過疎地域持続的発展計画 ☐ 男女共同参画推進計画 ☐ 企業版ふるさと納税 ☐ DX推進計画			
基本政策	地域で支え合う安全安心なまち	重点戦略		
政策項目	生活環境の整備充実	重点施策		
主な内容	良質な飲用水の供給	主な内容		

2. 概 要

目 的	町民の豊かで健康的な生活を確保したり、産業活動の活性化のため安全安心な水を安定的に供給
内 容	良質な水源の確保・保全を行い、水源に応じた浄水処理による水質管理や水道施設の整備

3. 成果と課題

成果	水道施設の適切な維持補修により、安全安心な水を安定的に供給できた
課題等	各施設の老朽化が進む中で、更新費用の確保が必要

4-1 事業の目標達成状況

指標	R6		R7	
	目標	実績	目標	実績
水道施設維持補修	現状維持	100%	100%	100%

4-2 重要業績評価指標(KPI)※みらい創造プランでKPIが設定されている事業

指 標	現状値(R1)	R6		R7	
		目標	実績	目標	実績
水道事業業務継続計画の策定	-	100%	100%	100%	100%

5. コスト

	R5	R6	R7
経 費	140,890,444	146,879,930	141,760,628
うち特定財源	795,890	770,000	0

6. 効果（担当課の評価）

評価項目		評価区分		評価	
一次評価（担当課）	必要性	住民のニーズの変化や官民の役割分担という視点から評価	a: ニーズは増加している b: ニーズに大きな変化はない c: ニーズはやや減少傾向にある d: ニーズは大幅に減少している	R6	a
				R7	a
	適切性の	事業目的の達成のため、適切な手段での事業実施という視点から評価	a: 手段は適正である b: 検討事項はあるが手段は概ね適切 c: 手段の一部見直しが必要 d: 手段の抜本的見直し必要	R6	a
				R7	a
	効率性	人的・物的資源の有効活用という視点から評価	a: コストや効率性は改善している b: コストや効率性に大きな変化なし c: コストや効率性に一部改善必要 d: コストや効率性に抜本的改善必要	R6	a
				R7	a
	目標達成度	現時点における事業目的の達成度を、事業の指標や進捗という視点から評価	a: 事業は良好に進捗している b: 事業は概ね良好に進捗している c: 事業の進捗に一部問題がある d: 事業の進捗に大きな課題がある	R6	a
				R7	a
	総合評価	住民生活への影響を十分考慮した上で、今後の事業展開を評価 A: 拡大 B: 維持 C: 改善 D: 廃止または中止	年度	評価	評価の理由
			R6	B	安心安全・安定した水の供給は、生活により身近な事業であり、既存水道施設の維持補修等は必要不可欠で今後も継続する
			R7	B	安心安全・安定した水の供給は、生活により身近な事業であり、既存水道施設の維持補修等は必要不可欠で今後も継続する

*****: ** 以下担当者入力不要 ** :*****

7. 評価（審査会の評価）

事業効果・評価		R6	R7	今後の方針	R6	R7
A非常に効果的であった		☐	☐	Aさらに発展(拡大)	☐	☐
B相当程度効果があった		☐	☒	B効果があるので継続	☐	☒
C効果がほとんどなかった		☐	☐	C内容の見直しが必要(改善)	☐	☐
D効果がなかった		☐	☐	D効果が見込めないため廃止	☐	☐
全体評価・コメント	R6					
	R7	・水道が出て当たり前のサービスを提供してもらえてることに感謝したい。 ・漏水などの事故にも早期に対応し、供給再開目標を守って再供給できていることが評価できる。今度、40年の耐用年数を迎えることから施設の計画的な更新をお願いしたい。				

8. 議会への報告



9. 全員協議会での意見

三種町みらい創造プラン 事業検証シート

R6

R7



1. 基本事項	事業番号	230	担当課名	上下水道課
名 称	下水道施設維持補修(合併浄化槽含む)事業			
計画種別	☒ みらい創造プラン ☒ 国土強靱化計画 ☐ 行革推進計画 ☒ 過疎地域持続的発展計画 ☐ 男女共同参画推進計画 ☐ 企業版ふるさと納税 ☐ DX推進計画			
基本政策	地域で支え合う安全安心なまち	重点戦略		
政策項目	生活環境の整備充実	重点施策		
主な内容	下水道施設の適切な保守管理	主な内容		

2. 概 要

目 的	公衆衛生の向上と公共用水域の水質保全及び災害発生時等の汚水処理施設の長時間にわたる機能停止の回避
内 容	経年劣化による状態不良の施設について更新又は長寿命化対策の実施と、将来に向けて維持可能な事業運営を行うための調査及び計画策定を行い、災害発生時に早期復旧を図るため業務継続体制や外部協力体制の構築

3. 成果と課題

成果	ストックマネジメント計画に則り管更生及びポンプの更新を実施し、安定した下水道施設運営に寄与した。
課題等	耐用年数を経過している設備が多く更新が追い付いていないため、企業債借入も行い予算増額を考え対応する。ストックマネジメント計画と農業集落排水最適整備構想策定への取組も実施し、下水道BCPの改定や県レベルでの維持管理業務広域連携を有効活用し取り組む。

4-1 事業の目標達成状況

指標	R6		R7	
	目標	実績	目標	実績
下水道施設維持補修	現状維持	100%	100%	100%
合併処理浄化槽新規設置基数	年間10基	年間6基	年間10基	年間3基

4-2 重要業績評価指標(KPI)※みらい創造プランでKPIが設定されている事業

指 標	現状値(R1)	R6		R7	
		目標	実績	目標	実績
地震対策等の水管橋耐震化率	現状維持(100%)	現状維持(100%)	現状維持(100%)	現状維持(100%)	現状維持(100%)
下水道事業業務継続計画の策定	100%	100%	100%	100%	100%

5. コスト

	R5	R6	R7
経 費	238,442,299	257,197,550	304,607,616
うち特定財源	12,523,000	24,418,000	30,722,000

6. 効果（担当課の評価）

評価項目		評価区分		評価	
一次評価（担当課）	必要性	住民のニーズの変化や官民の役割分担という視点から評価	a: ニーズは増加している b: ニーズに大きな変化はない c: ニーズはやや減少傾向にある d: ニーズは大幅に減少している	R6	a
				R7	a
	適切性の	事業目的の達成のため、適切な手段での事業実施という視点から評価	a: 手段は適正である b: 検討事項はあるが手段は概ね適切 c: 手段の一部見直しが必要 d: 手段の抜本的見直し必要	R6	a
				R7	a
	効率性	人的・物的資源の有効活用という視点から評価	a: コストや効率性は改善している b: コストや効率性に大きな変化なし c: コストや効率性に一部改善必要 d: コストや効率性に抜本的改善必要	R6	a
				R7	a
	目標達成度	現時点における事業目的の達成度を、事業の指標や進捗という視点から評価	a: 事業は良好に進捗している b: 事業は概ね良好に進捗している c: 事業の進捗に一部問題がある d: 事業の進捗に大きな課題がある	R6	b
				R7	b
	総合評価	住民生活への影響を十分考慮した上で、今後の事業展開を評価 A: 拡大 B: 維持 C: 改善 D: 廃止または中止	年度	評価	評価の理由
			R6	B	下水道は日常生活に必要不可欠なものであり、自然環境・公衆衛生向上及び水質保全に繋がるため、引き続き継続していく。
			R7	B	下水道は日常生活に必要不可欠なものであり、自然環境・公衆衛生向上及び水質保全に繋がるため、引き続き継続していく。

*****: ** 以下担当者入力不要 ** :*****

7. 評価（審査会の評価）

事業効果・評価		R6	R7	今後の方針	R6	R7
A非常に効果的であった		☐	☐	Aさらに発展(拡大)	☐	☐
B相当程度効果があった		☐	☒	B効果があるので継続	☐	☒
C効果がほとんどなかった		☐	☐	C内容の見直しが必要(改善)	☐	☐
D効果がなかった		☐	☐	D効果が見込めないため廃止	☐	☐
全体評価・コメント	R6					
	R7	・下水道施設維持補修事業は、計画に則り、安定した下水道施設運営に寄与している。 ・耐用年数を経過している設備が多く更新が追い付いていないため、企業債借入を検討するとともに、災害に備えて下水道BCPなどにも取り組んでいただきたい。				

8. 議会への報告



9. 全員協議会での意見

三種町みらい創造プラン 事業検証シート

R6

R7



1. 基本事項	事業番号	236	担当課名	建設課
名 称	町道維持管理事業			
計画種別	☒ みらい創造プラン ☒ 国土強靱化計画 ☐ 行革推進計画 ☒ 過疎地域持続的発展計画 ☐ 男女共同参画推進計画 ☐ 企業版ふるさと納税 ☐ DX推進計画			
基本政策	地域で支え合う安全安心なまち	重点戦略		
主要施策	生活環境の整備充実	重点施策		
施策項目	道路交通網の整備	主な内容		

2. 概 要

目 的	道路を常時良好な状態に保つように維持・修繕し、もって一般交通に支障を及ぼさないよう安全かつ円滑な交通の確保を図る。
内 容	適正な道路の保全管理として路面に穴、ひび割れ等が生じた場合の穴埋め、路肩等の草刈り、側溝等の道路施設の補修など。

3. 成果と課題

成果	常に道路の良好な状態を保つよう対応できた。(道路の欠損部補修や路肩の草刈りによる見通しの確保等)
課題等	道路施設の老朽化が進むとともに、重大な損傷や更新に伴う交通への影響が懸念される中、効率的な道路維持管理が必要。

4-1 事業の目標達成状況

指標	R6		R7	
	目標	実績	目標	実績
作業員の雇用	毎年実施	毎年実施	毎年実施	毎年実施

4-2 重要業績評価指標(KPI)※みらい創造プランでKPIが設定されている事業

指 標	現状値(R1)	R6		R7	
		目標	実績	目標	実績

5. コスト

	R5	R6	R7
経 費	9,608,520	12,509,405	14,342,760
うち特定財源	-	-	-

6. 効果（担当課の評価）

評価項目		評価区分		評価	
一次評価（担当課）	必要性	住民のニーズの変化や官民の役割分担という視点から評価	a: ニーズは増加している b: ニーズに大きな変化はない c: ニーズはやや減少傾向にある d: ニーズは大幅に減少している	R6	a
				R7	a
	適切段性	事業目的の達成のため、適切な手段での事業実施という視点から評価	a: 手段は適正である b: 検討事項はあるが手段は概ね適切 c: 手段の一部見直しが必要 d: 手段の抜本的見直し必要	R6	a
				R7	b
	効率性	人的・物的資源の有効活用という視点から評価	a: コストや効率性は改善している b: コストや効率性に大きな変化なし c: コストや効率性に一部改善必要 d: コストや効率性に抜本的改善必要	R6	a
				R7	b
	目標達成度	現時点における事業目的の達成度を、事業の指標や進捗という視点から評価	a: 事業は良好に進捗している b: 事業は概ね良好に進捗している c: 事業の進捗に一部問題がある d: 事業の進捗に大きな課題がある	R6	a
				R7	a
	総合評価	住民生活への影響を十分考慮した上で、今後の事業展開を評価 A: 拡大 B: 維持 C: 改善 D: 廃止または中止	年度	評価	評価の理由
			R6	A	住民生活に密接しており、将来的に継続して安全かつ円滑な交通確保が必要であり、継続していく必要あり。
			R7	B	毎年の維持管理により安全・円滑な交通を確保している。

** 以下担当者入力不要 **

7. 評価（審査会の評価）

事業効果・評価		R6	R7	今後の方針	R6	R7
A非常に効果的であった		☐	☐	Aさらに発展（拡大）	☐	☐
B相当程度効果があった		☐	☒	B効果があるので継続	☐	☒
C効果がほとんどなかった		☐	☐	C内容の見直しが必要（改善）	☐	☐
D効果がなかった		☐	☐	D効果が見込めないため廃止	☐	☐
全体評価・コメント	R6					
	R7	・道路の補修箇所も年々増加しているようだが、住民からの情報提供に耳を傾け、事故の起きないように道路施設の維持をお願いしたい。 ・今後の維持管理では人員の確保が課題となってくると思うので、確保対策のほか、機械化や事業委託なども検討してほしい。				

8. 議会への報告

9. 全員協議会での意見



三種町みらい創造プラン 事業検証シート

R6

R7



1. 基本事項	事業番号	238	担当課名	建設課
名 称	橋梁長寿命化事業			
計画種別	☒ みらい創造プラン ☒ 国土強靱化計画 ☐ 行革推進計画 ☒ 過疎地域持続的発展計画 ☐ 男女共同参画推進計画 ☐ 企業版ふるさと納税 ☐ DX推進計画			
基本政策	地域で支え合う安全安心なまち	重点戦略		
主要施策	生活環境の整備充実	重点施策		
施策項目	道路交通網の整備	主な内容		

2. 概 要

目 的	橋梁の保全に努め、安全安心な道路サービスを提供するとともに維持管理費の縮減を図る。
内 容	橋長2m以上の147橋を定期的に点検し、健全度(4段階)により計画的に修繕する。

3. 成果と課題

成果	橋梁長寿命化計画に伴い、国庫補助を活用しながら事業を進めることができた。 今後も健全度に従い、計画的に事業を進めていく。
課題等	橋梁の集約化・撤去、新技術等の活用、費用縮減など事業コストや効率化の検討。 高度成長期に建設された橋梁の更新時期に伴い、補修費用が大幅に増大することが懸念される。

4-1 事業の目標達成状況

指標	R6		R7	
	目標	実績	目標	実績
5年後の橋梁長寿命化進捗率	92%	92%	92%	92%

4-2 重要業績評価指標(KPI)※みらい創造プランでKPIが設定されている事業

指 標	現状値(R1)	R6		R7	
		目標	実績	目標	実績
5年後の橋梁長寿命化進捗率	92%	92%	92%	92%	92%

5. コスト

	R5	R6	R7
経 費	45,019,240	45,426,700	20,089,256
うち特定財源	26,112,000	28,215,000	12,226,000

6. 効果（担当課の評価）

評価項目		評価区分		評価	
一次評価（担当課）	必要性	住民のニーズの変化や官民の役割分担という視点から評価	a: ニーズは増加している b: ニーズに大きな変化はない c: ニーズはやや減少傾向にある d: ニーズは大幅に減少している	R6	a
				R7	b
	適切段性	事業目的の達成のため、適切な手段での事業実施という視点から評価	a: 手段は適正である b: 検討事項はあるが手段は概ね適切 c: 手段の一部見直しが必要 d: 手段の抜本的見直し必要	R6	a
				R7	b
	効率性	人的・物的資源の有効活用という視点から評価	a: コストや効率性は改善している b: コストや効率性に大きな変化なし c: コストや効率性に一部改善必要 d: コストや効率性に抜本的改善必要	R6	a
				R7	b
	目標達成度	現時点における事業目的の達成度を、事業の指標や進捗という視点から評価	a: 事業は良好に進捗している b: 事業は概ね良好に進捗している c: 事業の進捗に一部問題がある d: 事業の進捗に大きな課題がある	R6	a
				R7	b
	総合評価	住民生活への影響を十分考慮した上で、今後の事業展開を評価 A: 拡大 B: 維持 C: 改善 D: 廃止または中止	年度	評価	評価の理由
			R6	A	定期点検により橋梁の健全性を把握し対処する。また集約・撤去や新技術の活用など見直しできるところを洗い出し対応する必要がある。
			R7	B	定期点検により橋梁の健全性を把握し対処する。また集約・撤去や新技術の活用など見直しできるところを洗い出し進捗を確認する必要がある。

*****: ** 以下担当者入力不要 ** *****

7. 評価（審査会の評価）

事業効果・評価		R6	R7	今後の方針	R6	R7
A非常に効果的であった		☐	☐	Aさらに発展(拡大)	☐	☐
B相当程度効果があった		☐	☒	B効果があるので継続	☐	☒
C効果がほとんどなかった		☐	☐	C内容の見直しが必要(改善)	☐	☐
D効果がなかった		☐	☐	D効果が見込めないため廃止	☐	☐
全体評価・コメント	R6					
	R7	・橋梁長寿命化事業は、計画に伴い、国庫補助を活用しながら進めることができています。 ・橋梁の集約化・撤去、新技術等の活用、費用縮減など見直しできるところを洗い出し、事業コストや効率化の検討をするとともに、点検の不備による落橋事故や工事現場での作業員の事故には十分に注意していただきたい。				

8. 議会への報告

9. 全員協議会での意見



三種町みらい創造プラン 事業検証シート

R6

R7



1. 基本事項	事業番号	245	担当課名	商工観光交流課
名 称	消費者行政推進事業			
計画種別	☒ みらい創造プラン ☐ 国土強靱化計画 ☐ 行革推進計画 ☐ 過疎地域持続的発展計画 ☐ 男女共同参画推進計画 ☐ 企業版ふるさと納税 ☐ DX推進計画			
基本政策	地域で支え合う安全安心なまち	重点戦略		
主要施策	生活環境の整備充実	重点施策		
施策項目	消費者対策の推進	主な内容		

2. 概 要

目 的	地域社会における消費者問題解決のため、消費者の安心・安全を確保するための取り組みを行う。
内 容	消費者問題対策リーフレット等の配布により啓蒙活動を行う。また、消費者からの相談については、県生活センターと連携し助言および情報提供を行い、消費者の安心、安全を確保する。

3. 成果と課題

成果	人流の多い町民祭、町内大型店において、リーフレット等を配布し特殊詐欺被害防止に努めた。
課題等	消費者相談については、特殊詐欺被害、高額商品の購入、ネット販売でのトラブルなど多種多様にわたっている。県生活センター、警察等と連携しながら消費者の相談に的確に対応していく必要がある。また、消費者問題を解決するため、広報誌掲載、リーフレット作成、ホームページ等で情報提供し啓蒙活動を行っていく必要がある。

4-1 事業の目標達成状況

指標	R6		R7	
	目標	実績	目標	実績
消費者相談受付対応件数	15件	15件	15件	15件
啓蒙リーフレットの配布数	1,500部	1,500部	1,500部	1,500部

4-2 重要業績評価指標(KPI)※みらい創造プランでKPIが設定されている事業

指 標	現状値(R1)	R6		R7	
		目標	実績	目標	実績

5. コスト

	R5	R6	R7
経 費	936,677円	189,750円	236,900
うち特定財源	936,677円	94,857円	118,450

6. 効果（担当課の評価）

評価項目		評価区分		評価	
一次評価（担当課）	必要性	住民のニーズの変化や官民の役割分担という視点から評価	a: ニーズは増加している b: ニーズに大きな変化はない c: ニーズはやや減少傾向にある d: ニーズは大幅に減少している	R6	a
				R7	a
	適手切段の	事業目的の達成のため、適切な手段での事業実施という視点から評価	a: 手段は適正である b: 検討事項はあるが手段は概ね適切 c: 手段の一部見直しが必要 d: 手段の抜本的見直し必要	R6	b
				R7	b
	効率性	人的・物的資源の有効活用という視点から評価	a: コストや効率性は改善している b: コストや効率性に大きな変化なし c: コストや効率性に一部改善必要 d: コストや効率性に抜本的改善必要	R6	a
				R7	b
	目標達成度	現時点における事業目的の達成度を、事業の指標や進捗という視点から評価	a: 事業は良好に進捗している b: 事業は概ね良好に進捗している c: 事業の進捗に一部問題がある d: 事業の進捗に大きな課題がある	R6	b
				R7	b
	総合評価	住民生活への影響を十分考慮した上で、今後の事業展開を評価 A: 拡大 B: 維持 C: 改善 D: 廃止または中止	年度	評価	評価の理由
			R6	B	消費者被害、詐欺被害が増加しているなか、被害防止に効果的な事業内容を検討し継続する。 令和7年度は三種町独自の啓蒙リーフレットを作成し町民へ配布する。
			R7	B	詐欺被害等の防止に効果的な事業内容を検討し継続する。

***** ** 以下担当者入力不要 ** *

7. 評価（審査会の評価）

事業効果・評価		R6	R7	今後の方針	R6	R7
A非常に効果的であった		☐	☐	Aさらに発展(拡大)	☐	☒
B相当程度効果があった		☐	☒	B効果があるので継続	☐	☐
C効果がほとんどなかった		☐	☐	C内容の見直しが必要(改善)	☐	☐
D効果がなかった		☐	☐	D効果が見込めないため廃止	☐	☐
全体評価・コメント	R6					
	R7	・住民の被害防止のためにとても大切で必要な事業であるので、しっかり周知できるように様々な媒体で発信していくことを検討してほしい。 ・町生活センターは設置しているものの行政職員での対応には限界があることから、専門の相談員を配置したり県生活センターへ円滑に取り次ぎできる体制を整えることなどを検討してもらいたい。				

8. 議会への報告



9. 全員協議会での意見

三種町みらい創造プラン 事業検証シート

R6

R7



1. 基本事項	事業番号	250	担当課名	総務課
名 称	機構改革の検討			
計画種別	☒ みらい創造プラン ☐ 国土強靱化計画 ☒ 行革推進計画 ☐ 過疎地域持続的発展計画 ☐ 男女共同参画推進計画 ☐ 企業版ふるさと納税 ☐ DX推進計画			
基本政策	安定した行財政運営のまち	重点戦略		
政策項目	行政運営の効率化と行政改革の推進	重点施策		
主な内容	効率的な行政運営	主な内容		

2. 概 要

目 的	今後も多様化し続ける業務を限られた職員数で維持していくため、継続して機構改革を実施する。
内 容	秋田銀行の派出業務廃止に伴う機構改革の検討を行った。 議会一般質問を受け、子ども関係業務の担当部署の統合に関する調査を行った。

3. 成果と課題

成果	令和8年度から会計課会計係と検査係を統合するとともに、公金支払の効率化を図るため、セルフレジを町民生活課から会計課窓口へ配置換えすることとした。
課題等	子ども関係部署の統合については、町選挙終了次第検討に入る。また、契約・入札担当部署の新設等、その他の機構改革についても併せて検討を行う。

4-1 事業の目標達成状況

指標	R6		R7	
	目標	実績	目標	実績
-	-		-	
-	-		-	

4-2 重要業績評価指標(KPI)※みらい創造プランでKPIが設定されている事業

指 標	現状値(R1)	R6		R7	
		目標	実績	目標	実績
-	-	-		-	
-	-	-		-	

5. コスト

	R5	R6	R7
経 費	-	-	-
うち特定財源			

6. 効果（担当課の評価）

評価項目		評価区分		評価	
一次評価（担当課）	必要性	住民のニーズの変化や官民の役割分担という視点から評価	a: ニーズは増加している b: ニーズに大きな変化はない c: ニーズはやや減少傾向にある d: ニーズは大幅に減少している	R6	a
				R7	a
	適切性の	事業目的の達成のため、適切な手段での事業実施という視点から評価	a: 手段は適正である b: 検討事項はあるが手段は概ね適切 c: 手段の一部見直しが必要 d: 手段の抜本的見直し必要	R6	a
				R7	a
	効率性	人的・物的資源の有効活用という視点から評価	a: コストや効率性は改善している b: コストや効率性に大きな変化なし c: コストや効率性に一部改善必要 d: コストや効率性に抜本的改善必要	R6	a
				R7	a
	目標達成度	現時点における事業目的の達成度を、事業の指標や進捗という視点から評価	a: 事業は良好に進捗している b: 事業は概ね良好に進捗している c: 事業の進捗に一部問題がある d: 事業の進捗に大きな課題がある	R6	a
				R7	a
	総合評価	住民生活への影響を十分考慮した上で、今後の事業展開を評価 A: 拡大 B: 維持 C: 改善 D: 廃止または中止	年度	評価	評価の理由
			R6	A	多様化・高度化する業務を推進するため、効率的な組織を構築する必要がある。 政策提言チーム・フロントヤード改革プロジェクト等で出される提言や意見も参考に、課の再編により人員・業務に支障を及ぼさないよう十分に検討した上で取り組むべきである。
			R7	A	令和7年度は秋田銀行の撤退に対応するための限定的な機構改革を行っている。 町選挙後に本格的な機構改革を進めることとなるが、再編等により人員・業務に支障を及ぼさないよう十分な検討が必要である。

*****: ** 以下担当者入力不要 ** :*****

7. 評価（審査会の評価）

事業効果・評価		R6	R7	今後の方針	R6	R7
A非常に効果的であった		☐	☐	Aさらに発展(拡大)	☐	☒
B相当程度効果があった		☐	☒	B効果があるので継続	☐	☐
C効果がほとんどなかった		☐	☐	C内容の見直しが必要(改善)	☐	☐
D効果がなかった		☐	☐	D効果が見込めないため廃止	☐	☐
全体評価・コメント	R6					
	R7	・職員数は減少傾向にあるが、住民サービスの維持に努める必要がある。 ・フロントヤード改革(住民に優しいサービス(オンライン手続き等))とともに職員の作業負担軽減を図る必要もあるため、機構改革と併せて検討をすすめてほしい。				

8. 議会への報告



9. 全員協議会での意見

三種町みらい創造プラン 事業検証シート

R6

R7



1. 基本事項	事業番号	259	担当課名	町民生活課
名 称	諸証明発行窓口の拡充・コンビニ交付事業			
計画種別	☒ みらい創造プラン ☐ 国土強靱化計画 ☒ 行革推進計画 ☐ 過疎地域時局的発展計画 ☐ 男女共同参画推進計画 ☐ 企業版ふるさと納税 ☐ DX推進計画			
基本政策	安定した行財政運営のまち	重点戦略		
主要施策	行政運営の効率化と行政改革の推進	重点施策		
施策項目	民間委託・情報通信技術の活用	主な内容		

2. 概 要

目 的	町民の利便性向上のため、時間外発行ができる窓口を増やす。
内 容	マイナンバーカードを使ったコンビニ交付を実施する。

3. 成果と課題

成果	時間外利用、県外利用をはじめとする、コンビニ交付件数は着実に伸びている。
課題等	朝は6:30から23:00まで、土、日、祝日関係なく戸籍、住民票、印鑑証明、附票、課税証明を取得できる。本籍がある人については、郵送請求することなく、全国のコンビニ等で戸籍が取得できる。

4-1 事業の目標達成状況

指標	R6		R7	
	目標	実績	目標	実績
コンビニ交付利用件数	1000	1520	1400	1745
時間外利用件数	500	383	400	414
県外利用件数	200	132	150	151

4-2 重要業績評価指標(KPI)※みらい創造プランでKPIが設定されている事業

指 標	現状値(R1)	R6		R7	
		目標	実績	目標	実績

5. コスト

	R5	R6	R7
経 費	4,916,013	4,947,603	4,973,928
うち特定財源	321,250	369,250	408,250

6. 効果（担当課の評価）

評価項目		評価区分		評価	
一次評価（担当課）	必要性	住民のニーズの変化や官民の役割分担という視点から評価	a: ニーズは増加している b: ニーズに大きな変化はない c: ニーズはやや減少傾向にある d: ニーズは大幅に減少している	R6	a
				R7	a
	適切段性	事業目的の達成のため、適切な手段での事業実施という視点から評価	a: 手段は適正である b: 検討事項はあるが手段は概ね適切 c: 手段の一部見直しが必要 d: 手段の抜本的見直し必要	R6	a
				R7	a
	効率性	人的・物的資源の有効活用という視点から評価	a: コストや効率性は改善している b: コストや効率性に大きな変化なし c: コストや効率性に一部改善必要 d: コストや効率性に抜本的改善必要	R6	b
				R7	b
	目標達成度	現時点における事業目的の達成度を、事業の指標や進捗という視点から評価	a: 事業は良好に進捗している b: 事業は概ね良好に進捗している c: 事業の進捗に一部問題がある d: 事業の進捗に大きな課題がある	R6	b
				R7	b
	総合評価	住民生活への影響を十分考慮した上で、今後の事業展開を評価 A: 拡大 B: 維持 C: 改善 D: 廃止または中止	年度	評価	評価の理由
			R6	B	日中窓口に来られない方も、コンビニで証明書が取得でき、利用時間拡大による住民ニーズに対応できているため。
			R7	B	日中も窓口まで来ることなく最寄りのコンビニで証明書が取得でき、利便性がよい。また利用時間拡大による住民ニーズに対応できている。

*****: ** 以下担当者入力不要 ** *****

7. 評価（審査会の評価）

事業効果・評価		R6	R7	今後の方針	R6	R7
A非常に効果的であった		☐	☐	Aさらに発展(拡大)	☐	☐
B相当程度効果があった		☐	☒	B効果があるので継続	☐	☒
C効果がほとんどなかった		☐	☐	C内容の見直しが必要(改善)	☐	☐
D効果がなかった		☐	☐	D効果が見込めないため廃止	☐	☐
全体評価・コメント	R6					
	R7	・特に県外で生活する方々にとっては、身近で証明書が取得できるため利便性が増している。 ・また、コンビニに支払う手数料が1通につき117円で、利用されることで経費はかかるかもしれないが、職員の業務負担軽減にもつながる事であり、住民の利便性向上のため今後も継続してほしい。国の制度上の問題とは思いますが24時間対応となればなお良い。				

8. 議会への報告



9. 全員協議会での意見

三種町みらい創造プラン 事業検証シート

R6

R7



1. 基本事項	事業番号	278	担当課名	税務課
名 称	町税等に係る収納率の向上、電子機器による収納サービス			
計画種別	☒ みらい創造プラン ☐ 国土強靱化計画 ☒ 行革推進計画 ☐ 過疎地域持続的発展計画 ☐ 男女共同参画推進計画 ☐ 企業版ふるさと納税 ☐ DX推進計画			
基本政策	安定した行財政運営のまち	重点戦略		
政策項目	健全で計画的な財政運営	重点施策		
主な内容	歳出の抑制と歳入の確保	主な内容		

2. 概 要

目 的	町税等の確実な徴収を行うことにより、町民の公平な負担を図る
内 容	納付方法の拡充による利便性の増加

3. 成果と課題

成果	納付方法の多様化等により、収納率が向上した。
課題等	地方税統一QRコードを利用した納付の開始、納付方法の多様化、その他QR決済方法の周知等により、収納率の向上を図る

4-1 事業の目標達成状況

指標	R6		R7	
	目標	実績	目標	実績
口座引落件数	22,000	22,769	22,000	22,115
QRコード決済件数	190	1,752	1,800	2,818

4-2 重要業績評価指標(KPI)※みらい創造プランでKPIが設定されている事業

指 標	現状値(R1)	R6		R7	
		目標	実績	目標	実績

5. コスト

	R5	R6	R7
経 費	787,519	806,796	777,388
うち特定財源	0	0	0

6. 効果（担当課の評価）

評価項目		評価区分		評価	
一次評価（担当課）	必要性	住民のニーズの変化や官民の役割分担という視点から評価	a: ニーズは増加している b: ニーズに大きな変化はない c: ニーズはやや減少傾向にある d: ニーズは大幅に減少している	R6	a
				R7	a
	適切性の	事業目的の達成のため、適切な手段での事業実施という視点から評価	a: 手段は適正である b: 検討事項はあるが手段は概ね適切 c: 手段の一部見直しが必要 d: 手段の抜本的見直し必要	R6	b
				R7	b
	効率性	人的・物的資源の有効活用という視点から評価	a: コストや効率性は改善している b: コストや効率性に大きな変化なし c: コストや効率性に一部改善必要 d: コストや効率性に抜本的改善必要	R6	b
				R7	a
	目標達成度	現時点における事業目的の達成度を、事業の指標や進捗という視点から評価	a: 事業は良好に進捗している b: 事業は概ね良好に進捗している c: 事業の進捗に一部問題がある d: 事業の進捗に大きな課題がある	R6	b
				R7	a
	総合評価	住民生活への影響を十分考慮した上で、今後の事業展開を評価 A: 拡大 B: 維持 C: 改善 D: 廃止または中止	年度	評価	評価の理由
			R6	B	納付方法の拡充により、納付しやすい環境が整った。
			R7	B	広報やHP等により、引き続き収納納付方法等の周知を図る。

*****: ** 以下担当者入力不要 ** :*****

7. 評価（審査会の評価）

事業効果・評価		R6	R7	今後の方針	R6	R7
A非常に効果的であった		☐	☐	Aさらに発展(拡大)	☐	☐
B相当程度効果があった		☐	☒	B効果があるので継続	☐	☒
C効果がほとんどなかった		☐	☐	C内容の見直しが必要(改善)	☐	☐
D効果がなかった		☐	☐	D効果が見込めないため廃止	☐	☐
全体評価・コメント	R6					
	R7	・コンビニは幅広い世代で利便性が高く、今後も増加傾向で推移していくと思われる。 ・税目によっては、納税者に高齢者の割合が多く利用率を上げることは難しいものもあると思われる。 ・納税額に上限がないシステムを導入する方法もある。				

8. 議会への報告



9. 全員協議会での意見

新しい地方経済・生活環境創生交付金(デジタル実装型)
事業検証シート

R7	●	R8		R9	
----	---	----	--	----	--

事業番号	R7(R6補)-2024TYPE1-1	担当課名	議会事務局
名 称	議会会議録検索システム事業		
基本政策		主要施策	
		施策項目	

1. 概 要

目 的	情報公開の強化は住民の議会・行政への関心を高める効果が期待でき、連れて、地域住民の地域づくりへの参画を促すことに繋がる。
内 容	インターネットにより、定例会・臨時会の会議録を簡単に検索できるシステムを構築する。

2. 成果と課題

成果	R7	令和7年10月からシステムが稼働し、多数の利用者が確認されている。
	R8	
	R9	
課題等		

3-1 アウトプット指標(活動指標)【KPI】

指標	R7		R8		R9	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
会議録検索システムへの会議録の掲載数	7	12	21		35	
会議録検索システムへのアクセス数	100	5906	200		300	

3-2 アウトカム指標(成果指標)【KPI】

指標	R7		R8		R9	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
利用者満足度(効率性)	2	2.7	2.3		2.5	
利用者満足度(利便性)	2	2.7	2.3		2.5	

4. コスト

(単位:千円)

	R7(実装・運営)	R8(運営)	R9(運営)
経費	1,089		
うち特定財源	545		

5. 効果（担当課の評価）

評価項目			評価区分		評価				
一次評価（担当課）	必要性	住民のニーズの変化や官民の役割分担という視点から評価	a: ニーズは増加している b: ニーズに大きな変化はない c: ニーズはやや減少傾向にある d: ニーズは大幅に減少している		R7	a	R8		R9
	適手切段性の	事業目的の達成のため、適切な手段での事業実施という視点から評価	a: 手段は適正である b: 検討事項はあるが手段は概ね適切 c: 手段の一部見直しが必要 d: 手段の抜本的見直し必要		R7	a	R8		R9
	効率性	人的・物的資源の有効活用という視点から評価	a: コストや効率性は改善している b: コストや効率性に大きな変化なし c: コストや効率性に一部改善必要 d: コストや効率性に抜本的改善必要		R7	a	R8		R9
	目標達成度	現時点における事業目的の達成度を、事業の指標や進捗という視点から評価	a: 事業は良好に進捗している b: 事業は概ね良好に進捗している c: 事業の進捗に一部問題がある d: 事業の進捗に大きな課題がある		R8	a	R9		R10
	総合評価	住民生活への影響を十分考慮した上で、今後の事業展開を評価 A: 拡大 B: 維持 C: 改善 D: 廃止または中止	年度	評価	評価の理由				
			R7	A 拡大	KPI「会議録検索システムへのアクセス数」については、議会の傍聴者数を基準値として設定したが、1年目の実績値は基準値を大幅に超えてKPIを達成することができた。サービス実施後のアンケートでは、実装以前の会議録の公開を求める意見要望があったため、次年度からは、随時、会議録データの追加を行っていきたい。				
			R8						
			R9						

***** 以下担当者入力不要 *****

6. 評価（審査会の評価）

事業効果・評価		R7	R8	R9	今後の方針	R7	R8	R9
A非常に効果的であった		☐	☐	☐	Aさらに発展(拡大)	☐	☐	☐
B相当程度効果があつた		☒	☐	☐	B効果があるので継続	☒	☐	☐
C効果がほとんどなかった		☐	☐	☐	C内容の見直しが必要(改善)	☐	☐	☐
D効果がなかった		☐	☐	☐	D効果が見込めないため廃止	☐	☐	☐
全体評価・コメント		・アンケートの回答数11件は少ない。国の交付金を活用するため、3年間検証が必要。アンケートの収集方法を検討してほしい。 ・初年度のアクセス目標が低すぎたのではないか。国への報告(2年目以降の目標値)の訂正が必要ではないか。 ・議会映像配信システムの導入に当たっては、ライブ配信にすると町民はリアルに見ることができる。出来るところから少しずつ導入を検討してほしい。 ・PCとスマートフォンで見え方が違う部分がある。見え方の改善が必要。 ・検索されたワードによって、町民の関心度の検証をしてはどうか。						

7. 議会への報告



8. 全員協議会での意見